

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年05月29日

計画の名称	安心・安全なまちづくり、下水道施設の耐震・長寿命対策その2（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	熱海市												
計画の目標	老朽化した下水道施設を整備し、事故の起きない安全で安心なまちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	299	A	299	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)
1	処理場におけるストックマネジメント計画に基づく施設改築施設数326施設のうち残りの51施設について、施設改築実施率を0%（R2当初）から100%（R3末）に増加させる。 処理場におけるストックマネジメント計画に基づく施設改築実施率 改築実施済み施設数/改築すべき施設数（51施設）	0%	0%	100%
2	処理場における施設耐震補強施設数1施設について、施設耐震補強実施率を0%（R2当初）から100%（R3末）に増加させる。 処理場における施設耐震補強実施率 耐震補強（建築）実施済み施設数/耐震補強（建築）すべき施設数（1施設）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------	-----------	--------------------------	---------------	--------------------------

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名／	事業実施期間 (年度)					全体事業費	費用	個別施設計画		
		種別	種別	対象	間接				(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R02	R03	R04	R05	R06	(百万円)	便益比		策定状況	
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	熱海市	直接	熱海市	管渠 (改築	熱海処理区管渠改築	管更生Φ250mm～Φ300mm L=	熱海市		■				22		策定済		
	熱海市 下水道ストックマネジメント計画																				
	A07-002	下水道	一般	熱海市	直接	熱海市	終末処	改築	熱海市浄水管理センター	実施設計・水処理電気設備	熱海市	■	■				214		策定済		
	熱海市 下水道ストックマネジメント計画																				
	A07-003	下水道	一般	熱海市	直接	熱海市	終末処	—	熱海市浄水管理センター	実施設計・管理棟耐震補強 (熱海市	■	■				63		—		
										耐震化 建築)											
											小計						299				
										合計						299					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

- ・熱海市公営企業部内で実施。

事後評価の実施時期

令和5年3月

公表の方法

熱海市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

熱海市浄水管理センターの設備改築を行い、処理場におけるストックマネジメント計画に基づく施設改築実施率は、0%から100%（完成51施設/計画51施設）となった。
また、熱海市浄水管理センターの耐震化を行い、処理場における施設耐震補強実施率は、0%から100%（完成1施設/計画1施設）となった。
これにより施設老朽化や地震による事故を防止し、安全で安心なまちづくりに寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き下水道施設の計画的な改築及び耐震化を推進し、下水道としての機能確保と道路陥没や地震時等による二次災害を防止することに寄与していく。
計画期間内に完成できなかった管渠改築は、令和4年9月に完成した。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	処理場におけるストックマネジメント計画に基づく施設改築実施率	
	最終目標値	100%
2	処理場における施設耐震補強実施率	
	最終目標値	100%

計画の名称	安心・安全なまちづくり、下水道施設の耐震・長寿命対策その2（防災・安全）		
計画の期間	令和2年度～令和3年度（2年間）	交付対象	熱海市

熱海処理区計画図

